



QFN 通信

Qshu Forest Network News

NPO 法人 九州森林ネットワーク

巻頭文 理事長 佐藤 宣子(福岡県 福岡市)

第 21 号 since2005.6.1

発行日 2017.4.10

理事長就任のご挨拶

桜の開花宣言もでて、春を迎える季節となりました。会員の皆さまにおかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年 11 月 25 日の総会で理事長に就任しました、九州大学の佐藤宣子です。本会は、2000 年に設立された NPO 法人緑のネットワークの九州在住の会員で連絡協議会が前身です。2004 年にその中の有志で九州森林ネットワークが NPO 法人として設立されました。私は、2004 年～2010 年の 6 年間理事長を務め、今回再任ということになりました。2010 年～2016 年の 6 年間、熊本県小国の北里耕亮町長には行政の長としての忙しい仕事をしながら、理事長として本会を盛り立てていただきましたことに、この場をお借りして御礼申し上げます。前理事長の下で年 2 回開催していたフォーラムを年 1 回開催とし、年 1 回会員向けの研修会を行うという活動スタイルが確立されました。1 年間じっくりとフォーラムの準備をし、会員間の交流が深まってきています。

理事長を再度お引き受けするにあたり、次の 2 点を抱負として挙げたいと思います。1 つは、九州森林フォーラムを継続して開催し、その時々求められる「九州の山々と街を結ぶ」テーマをわかりやすく伝え、議論を深めることです。九州は近年素材生産量が伸び、バイオマス発電需要の増加で林業が活況を呈しているように見えますが、様々な課題が顕在化しています。例えば、荒い施業の広がり、再造林がなされない山が増加していること、林業就業者の労働災害の多発、無垢材の性質を知り木の家造りを担う製材所や大工・工務店の技術者の減少、山村での過疎・高齢化の進展などです。それらの問題を森林・林業に関係する方にとどまらず、市民の方にも発信できるようなフォーラムを企画していきたいと思います。今年は 5 月に国東半島での研修、11 月に林業および木の家造り担い手の人材育成に関するフォーラムを開催する予定です。

二つ目の抱負は、本会活動の理事や事務局メンバーに若い方々に関わってもらえるような活動のあり方を考えることです。2000 年の当初のメンバーは少なくなり、また理事それぞれ本業で重責を担っており、NPO 活動に注力することが難しい状況になりつつあります。是非とも若い会員を増やして、次の世代にバトンタッチできるような橋渡しをしたいと考えます。ご協力をお願いする次第です。

今後とも本会活動へのご理解と活動への参加を、よろしく願います。

<発行>

NPO 九州森林ネットワーク

本部：大分県日田市

<編集責任>

熊本県・小国オフィス



【目次】

第 21 回九州森林フォーラムの報告 P.2～P.5

第 6 回プレミアム研修会の告知 P.6



第21回九州森林フォーラム I N熊本報告

「今こそ地域材を活用した安全安心の木の家づくり」

～熊本地震を経験した木造在来工法、伝統工法に取り組む工務店、設計者による報告会～

これまで本 NPO 法人は九州の山とマチを結ぶことを目的に、森林・林業を中心にした活動をテーマにフォーラムを開催してきました。そして山とマチを結ぶ木材の流通において、地域材を活用した健全な家づくりは大きな課題であるといえます。

そこで熊本地震を経験した木造在来工法・伝統工法に取り組む工務店や設計者を講師として招き、地域の山の木を活用した家づくりの現場では何が起こったのか、何を教訓としてできるのかを報告して頂きました。

山村を含め、九州の家づくりにかかわる人たちで課題を共有し、復興に向けての足掛かり、そしてこれからの地域の山の木を活用した安全な家づくり・地域に根差した家づくりへのあり方を議論いたしました。

11月25日（金）

事例報告会

フォーラムでは、矢房孝広氏(宮崎県諸塚村)をコーディネータに、株式会社ミズタホーム 代表取締役社長 水田和弘様、新産住拓株式会社 代表取締役社長 小山英文様、すまい塾 古川設計室 有限会社 代表取締役 古川保様に事例報告を行って頂きました。その後、株式会社川崎構造設計 代表取締役 川崎 薫様、株式会社建築工房 自然木 代表取締役 村田 義弘様も加わり、質疑応答を行いました。



九州森林フォーラムのようす



(1)株式会社ミズタホーム 水田和弘様による事例報告



(2)新産住拓株式会社 小山英文 様による事例報告



(3)すまい塾 古川設計室 古川保 様による事例報告

質疑応答・コメント



11月26日（土）現地見学会

■ すまい塾 古川設計室 有限会社

すまい塾 古川設計室 有限会社様で設計した伝統工法の住宅を見学しました。



外観



内装

■ 株式会社ミズタホーム

山ぼうしの樹を見学、昼食



集合写真

■ 新産住拓 株式会社

構造館、新産住拓様の歴史を見学しました。



再生した古民家



新産住拓様のあゆみ



構造館

■ 参加者数

フォーラム参加者 59名

見学会参加者 36名

■ 参加者からのコメント

- ・伝統工法に興味がありますが、現在の建築基準法の問題など色々と教えて欲しいです。(木材業／40歳代)
- ・怪我なく逃げる事を第一に考えて建物を維持しています。(一般ユーザー／60歳以上)
- ・とても勉強になりました。木造住宅がいいですね。(設計／20歳代)
- ・古川先生の話に興味を持って聞きに来ました、何回も聞いたのですがさすがに本質を突いたお話でした。参考にさせて頂きたいと思いました。(工務店／60歳以上)
- ・木の家づくりの大切さ、奥深さ、大きさが分かり、感動しました。これからの生き方の参考になりました。3名の先生方のお話は全て勉強になり、世の中の流れに流されない真実の家づくりだと思いました。(一般／50歳代)
- ・地域材を使ってなおかつ安心な地震に強い木造住宅にこだわって作られている方のお話が聞ける機会、大変貴重でした。木の家を自信を持って勧めて頂き、心強い気持ちです。「木造は弱い」のイメージを払拭する取組を進めていきたいと思えます。(行政／30歳代)
- ・ありがとうございました。日ごろの鬱憤が全て発散されました。(木材業／60歳以上)
- ・山側も意見をいわなければならない。(その他／60歳以上)
- ・特に古川先生には大変貴重なお話をお伺いしました。日々お客様と接する中で、耐震への疑問・不安を多く頂くようになりました。それにどう応えていくのか考えたくて参加しました。ありがとうございました。スライド全部分お話聞きたかったです。(工務店／40歳代)
- ・ミズタホームさんの住宅又はモデルルームを見学したかった。構造や説明なども聞けたらよかったです。(一般／40歳代)
- ・現場確認できてよかったです。(設計／40歳代)
- ・今後自分自身の業務で取り入れたいことが多い充実した見学会でした。ありがとうございました。(設計／40歳代)

…など

■ 今後取りあげてほしいテーマなど

- ・物からの転換と言われはじめています。成長産業に住宅業界が取り残される恐れを感じずにはられません。発想の転換よりも理念の転換！（一般／50歳代）
- ・林業の魅力の伝え方。（行政／30歳代）
- ・住宅と山（森林）との経済的関係について。米国の住宅産業のあり方を取りあげて欲しい（一般／50歳代）
- ・地域材の活用とは誰それだけではなく技術も含めて考えて欲しいと思います。（木材業／60歳以上）
- ・職人育成など。（一般／50歳代）
- ・木質バイオマス発電の普及に伴う光と影。特に森林資源に関して（行政／50歳代）
- ・伝統構法の基本的設計手法。（設計／40歳以上）
- ・職人を増やすには。（建築関連／40歳以上）
- ・九州各地の伝統工法と林業のつながり。（学校関係／50歳代）
- ・伝統構法の構図尾設計手法、伝統構法の改修事例説明 等。（設計／40歳代）
- ・地元材を使った建物を建築家、施工者とめぐる。（学校関係／40歳代）
- ・また木の家の良さが実感できる機会をつくって下さい。（一般／50歳代）
- ・古民家再生。（一般／40歳代）

第6回 九州森林ネットワーク プレミアム研修 in 国東

【日時】平成29年5月12日(金)～13日(土) (1泊2日)

【テーマ】伝統文化と森林利用

～世界農業遺産、九州最古の木造建築物、よみがえる伝統工芸、宗教と林業の繋がり、過疎地域の新たな取組などを学びます～

九州森林ネットワークでは、過去5回に渡ってプレミアム研修を九州各地で行ってきました。この研修会を通して、地域、業種を超えて会員各位の交流を図り、研修を通してそれぞれが抱える問題・課題など様々な意見交換を行ってきました。今回の研修では、「伝統文化と森林利用」をテーマに国東半島を訪問いたします。

国東半島は、古来より神仏習合の地として有名な地域です。そのため、九州最古の木造建築物として有名な富貴寺大堂を代表として、多くの伝統ある巨大木造寺院が存在しています。そして、それらを支えるには、林業、大工、工芸品、農業などを始めとして多くの産業が必要となります。今回の研修では、伝統文化と林業の繋がりを学ぶ事によって、『繋がりのある林業・地域産業』を学びます。

【視察スケジュール(予定)】 定員 20名

	訪問・見学場所 (変更の可能性があります。)
5/12(金) 13:30 集合	大分県東部振興局(国東林業の説明)、杵築市久保畑集落竹林組合(竹栽培とタケノコ生産)、くにさき七草イ振興会、(株)アキ工作社
宿泊場所	梅園の里(懇親会会場)
5/12(金)の移動は、マイカーとなります。公共交通機関ご利用の方は、別途車を用意いたします。 5/13(土)の移動は、バス移動となります。	
5/13(土) 15:30 解散	大分県椎茸農協国東支部、両子の森プロジェクト(両子寺)、国東ヒノキの林業(財前木材)、富貴寺

【参加費】17,000円/人 (宿泊費、朝夕食、懇親会費、貸切バス)

※13日の昼食は別途となります。

【お申し込み】メールかFaxでお申し込みください。

住所	
氏名	
連絡先	電話 携帯
	メール
備考	

※公共交通機関をご利用の方は車を準備いたしますので、備考欄に『公共交通機関利用』とご記入ください。また、当日連絡が取れるように携帯番号をご記入ください。

【連絡先】大分県日田市上津江町川原 28101-1 (株)トライ・ウッド内 担当:総務企画部 渡邊

(TEL) 0973-55-2888 (FAX) 0973-55-2323 (Email) info@try-wood.com

【申し込み締め切り】平成29年4月20日